

地域社会全体で子どもを虐待から守り、虐待のない社会を築きましょう

さまざまな児童虐待

児童虐待には、なぐる・けるなどの身体的虐待だけではなく、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待があります。さまざまな虐待が重なり子どもたちが傷ついています。

身体的虐待

- なぐる・ける、叩く
- 投げ落とす
- 激しく揺さぶる
- やけどを負わせる など

性的虐待

- 子どもに性的行為を求める
- 性的行為を見せる
- 性器を触る又は触らせる
- ポルノグラフィの被写体にする など

ネグレクト

- 家に閉じ込める
- 食事を与えない
- ひどく不潔にする
- 重い病気になっても病院に連れて行かない など

心理的虐待

- 言葉で脅す ● 無視する
- きょうだい間で著しく差別的に扱う
- 子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(面前DV) など

児童虐待のサイン

子どもや保護者、状況について、「何か変だ」という異変や違和感を見逃さないことが重要です。

子どもについて

- 表情が乏しい ● 極端に無口
- 乱暴な言葉遣い
- 家に帰りがたらない
- 性的に逸脱した言動
- 触られること・近づくことをひどく嫌がる
- 異常な食行動・衣服が汚れている など



保護者について

- 感情や態度が変化しやすい
- イライラしている
- 余裕がないように見える
- 子どもへの近づき方・距離感が不自然
- 人前で子どもを厳しく叱る・叩く
- 家の様子が見えない など



状況について

- 説明できない不自然なケガ・繰り返すケガ
- 親子でいるときは表情が乏しいが、親がいなくなると急に表情が晴れやかになる
- 近隣の家から子どもの泣き声や大人の怒鳴り声が聞こえる など



児童虐待の相談連絡先

児童相談所虐待対応ダイヤルは3桁の番号です

189 (いちはやく)

24時間365日

※通話料は無料、一部のIP電話はつながりません。

児童虐待ホットライン(こども相談センター)

TEL 0120-01-7285
(まずは一報、なにわっ子)

24時間365日

※子どもへの虐待に関する通報や相談を24時間フリーダイヤルで受付します。

西区保健福祉センター子育て支援室

TEL 06-6532-9936

月～金 / 9:00～17:30(祝日・年末年始を除く)

※子育てに疲れたとき、不安なとき、ひとりで悩まないで、お気軽にご相談ください。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

ヤングケアラーとは、家事や家族の世話を大人に代わって日常的に行っている18歳未満の子どものことです。病気や障がいのある家族や幼いきょうだいの世話をすることで、勉強や宿題をする時間が取れない、自分の時間や友達と遊ぶ時間が取れないという状況は、子どもにとって大切な権利が保障されているとは言えない状況です。



ヤングケアラーについて▲



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

◆ヤングケアラー寄り添い型相談支援事業

YCピアサポ相談

TEL 06-4790-8833

月～金 / 10:00～18:00

ヤングケアラーかも?と思う中高生が周りいたらご相談ください。家族のケアをしてきたスタッフや福祉の専門職が話を聴き、アドバイスします。

✉ pia_osakacity@ycballoon.org



YCピアサポ相談について▲

ヤングケアラーオンラインサロン(要予約)

ヤングケアラーの中高生たちが集まって語り合う場を設けています。(元)ヤングケアラーの奮闘記を聴いたり、自分の時間を持つための知恵を出し合ったりしています。



オンラインサロンについて▲

問 区 子育て支援担当 3階38番窓口 TEL 06-6532-9028 FAX 06-6538-7319



防災コラム

災害が起こった際に皆さんの身近に起こることやその対処方法などをテーマに、全3回にわたって掲載します。



1月1日に発生した能登半島地震では、残念ながら避難生活などが原因で亡くなる災害関連死が起きています。今回は災害関連死の傾向と気を付けるポイントをチェックしていきます。

第2回

災害関連死を防ごう!



大阪防災アプリ▶



避難生活の環境を整えることが重要です

傾向 既往症のある方、70歳以上の方が発災後3か月以内に亡くなる割合が高い

原因 避難生活の肉体的・精神的負担、医療機関の機能停止などによる初期治療の遅れ

気を付けるポイント T K B

T トイレ(衛生)
断水時でも簡易トイレを使用
リスク 水分摂取を控える
→ 唾液の減少
→ 誤えん性肺炎

K キッチン(栄養)
備蓄によるバランスのよい食事
リスク 栄養不足、偏り
→ 高血圧

B ベッド(休養)
安眠できる環境
リスク 睡眠不足
→ 体力・免疫力の低下

食料や水、持病薬・簡易トイレのご準備など普段に近い生活が送れるよう備えが重要です!

問 区 防災対策担当 4階41番窓口 TEL 06-6532-9972 FAX 06-6538-7318